学校番号	3001

令和２年度　地歴科

教科	地歴	科目	世界史Ａ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	明解『世界史Ａ』　（帝国書院出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は年号や出来事・人名を覚える教科、と思っていませんか？基本的な事柄は少し覚えておかないといけませんが、それよりも「なぜこんなことが起きたのか」「その出来事は後世にどんな影響を与えたのか」ということを考える事が一番大事です。歴史を作ったのは私たちと同じ人間です。彼らの行動・思考を考察することによって、自分たちがどのような歴史を構築して行くのか、しっかりと考えましょう。歴史を背景とした世界の国々の諸事情を踏まえながら、現在の日本の在り方について考えましょう。

2　学習の到達目標

世界史は高等学校ではじめて接する科目である。まず世界全体の場所・地形・特徴を押さえ、その後、各時代の出来事を通じてその時代の思考を理解する。そして、重要な出来事に対しては、論述で説明できるようにする。ノートの取り方を自分で考え、ノートには独自のメモを書き込み、ポイントの押さえ方を理解する。映画やテレビ番組などを見る事によって、教科書だけでなく広く歴史に興味を持つ。世界の歴史を地理や日本の歴史と関連付けながら、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きて、国際社会の発展に責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、そこから有益な情報を選択して読みとったり図表にまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関係づけながら理解し、その知識を身につけ、それを使って考察している。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 発問と答え ワークシート	ワークシート 定期考査	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	前近代の諸文明	人類の始まり 東アジアの文明 南アジアの文明 西アジアの文明 ヨーロッパの文明 南北アメリカの文明 ユーラシアの交流圏	○	◎ ○	○ ○ ○	◎	a:主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:主題について、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:主題について諸資料を収集し、有用な情報を収集・選択して読み取ったり表にまとめたりする。 d:主題について、地理や日本史諸地域の地理的な要因と文明の特徴を理解し知識を身に着けているか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、練習問題提出 定期考査
1	一体化に向かう世界	繁栄するアジア ルネッサンスと宗教改革 大航海時代の始まり ヨーロッパの主権国家体制	○	○	○	◎	a:学習内容に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。 b:設定された諸地域の特質を多面的・多角的に考察し、それらを適切に表現できるか。 c:諸資料を収集して読み取り、選択した有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d:ヨーロッパの動き、アジア諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に着けているか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、定期考査

2	欧米の工業化とアジア諸国の動揺	ヨーロッパとアメリカの諸革命 自由主義・ナショナリズムの進展 アジア諸国の動揺 東アジアの大変動	○	○ ◎	○		a:18 世紀後期以降の世界の動きについて意欲的に追求しようとしているか。 b:19 世紀の世界の一体化と関連付けて考察し、適切に表現できるか c: 諸資料を収集し有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d:自由と平等を求める動きと今の社会とのつながり、産業革命からの資本主義の理解を通して現代社会を考察できるか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、練習問題提出 定期考査
2	現代社会の芽生えと世界大戦	世界の一体化と帝国主義 第一次世界大戦とロシア革命 民族自決を求めて 世界恐慌から第二次世界大戦へ	○	○ ◎	○		a:社会の急激な変化と二つの世界大戦について意欲的に追求しようとしているか。 b: 社会の急激な変化と二つの世界大戦について考察し、適切に表現できるか c: 諸資料を収集し有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d:両大戦の影響と平和の意義を現代社会と関連付けて理解し考察できるか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、練習問題提出 定期考査
3	冷戦から地球社会へ	冷たい戦争の時代 冷戦終結への道のり 地球社会への歩み 持続可能な社会を目指して	○ ○	◎		○	a:第二次世界大戦後の世界の諸地域について関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。 b: 第二次世界大戦後の世界の諸地域について考察し、適切に表現できるか c: 第二次世界大戦後の世界の諸地域について諸資料を収集し有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d: 第二次世界大戦後の世界の諸地域について現代社会と関連付けて理解し考察できるか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解